

新規の場合

様式 1

オキシダントに係る緊急時の措置実施計画（~~変更・廃止~~）届出書

該当するもの以外は二重線で消してください
（作成の場合は変更・廃止の両方を削除）

〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先)

該当する環境管理事務所名を記載してください
（管轄はパンフレットを参照してください）

提出日を記載してください

埼玉県〇〇環境管理事務所長

届出者 〒*****
〇〇市△△3-9-1
〇〇工業株式会社
代表取締役社長 〇〇 〇〇
電 話 048-824-2111
F A X 048-830-〇〇〇〇

埼玉県大気汚染緊急時対策要綱第7第2項の規定により、オキシダントに係る緊急時の措置の実施計画を作成（~~変更・廃止~~）したので、次のとおり届け出ます。

変更・廃止の両方を二重線で消してください

工場又は事業場の名称	〇〇工業株式会社
工場又は事業場の所在地	〒***** 〇〇市△△3-9-1
緊急時の電話番号	048-824-2111
緊急時のFAX番号	048-830-〇〇〇〇
緊急時の措置実施計画	別紙のとおり

備考 緊急時の電話番号及びFAX番号は、緊急時の発令又は解除を行った時に、必要な措置を講ずるよう協力を求め、若しくは命令等を行う場合に使用する。

別紙

緊急時の措置実施計画

(オキシダント)

【平均削減率について】

①ばい煙発生施設のバーナーの燃料の燃焼能力（重油換算ℓ/h）の合計が事業所単位で1,000ℓ/h以上となるばい煙発生施設を設置している事業者

…注意報発令の際に通常の燃料使用量の20%程度の削減を、警報・重大緊急報の際に40%程度の削減を求めます。

②ばい煙発生施設のバーナーの燃料の燃焼能力（重油換算ℓ/h）の合計が事業所単位で500ℓ/h以上1,000ℓ/h未満の事業者

…警報・重大緊急報の際に通常の燃料使用量の20%程度の削減を求めます。

ばい煙発生施設の種類		ボイラー	ボイラー	加熱炉	平均削減率	
ばい煙発生施設のバーナーの燃料の燃焼能力 (ℓ/h)		900	600	500	(%)	
夏期1時間あたりの通常燃料使用量 (ℓ/h)		(B重油) 800	(灯油) 500	(A重油) 400		
硫黄分 (%)		2.0	0.0	0.9		
緊急時におけるばい煙削減計画	予報時	燃料使用量(ℓ/h)	800	500	400	14
		硫黄分 (%)	2.0	0.0	0.9	
		削減率 (%)	0	30	20	
	注意報時	燃料使用量(ℓ/h)	700	500	400	20
		硫黄分 (%)	2.0	0.0	0.9	
		削減率 (%)	13	30	20	
	警報時	燃料使用量(ℓ/h)	450	500	400	39
		硫黄分 (%)	0.9(A重油)	0.0	0.9	
		削減率 (%)	55	30	20	
	重大緊急報時	燃料使用量(ℓ/h)	450	500	400	39
		硫黄分 (%)	0.9(A重油)	0.0	0.9	
		削減率 (%)	55	30	20	

備考1 計画は、ばい煙発生施設ごとに記入する。ただし、ばい煙発生施設が多数にあり、この用紙に書ききれない場合は、合計だけを記入し、明細を別紙としてもよい。

2 要綱別表4中の重油換算は、重油10ℓ当たりが液体燃料は10ℓに、ガス燃料は16m³に、固体燃料は16kgにそれぞれ相当するものとして本計画に記載すること。

3 要綱別表6中の燃料使用量の削減に準ずる措置を行う場合は、その措置の内容を各相当欄に記入すること。

4 通常燃料使用量は、4～10月の13～16時における1時間当たりの予定使用量とする。

5 生産に必要な施設、発酵、蒸留、溶融のための施設及び夏期の昼間における通常燃料使用量がバーナー定格（最大能力）の20%以下の施設は上記計画に含めなくてよい。

6 夏期に交互使用する複数の施設である場合は、燃焼能力が大きい方の施設について記載すること。